

平成27年度 Satoru Sato のアート出前講座

今年のアート出前講座は7月2日から8日迄、希望校による米山東小学校、米岡小学校、錦織小学校、石森小学校、上沼小学校、そして、ミュージアムに近い、今年開校されたばかりの新生・登米総合産業高等学校が受講しました。

遊びのレリーフ・段ボールの大きさの違う丸、三角、四角、それに細長い長方形を1個ずつ、4個の形を選んでから三原色の赤、黄色、青、無彩色の白、黒の絵の具の中から好きな4色の絵の具を選びパレットに出しました。一色ずつ色を混ぜずに各形に塗り、乾いた所で塗り上げた形を組み合わせ、最終的にボンドで貼付けました。

レリーフ状の作品は、米山東小、錦織小、石森小のクラスでした。遊びのオブジェ米岡小学校では材木を利用したオブジェ作りを、好きな形の材木を選び、三原色と無彩色の白・黒、から選んだ絵の具をパレットに出して、一色ずつ塗り、色が乾いた所で接着し完成です。

遊びの幾何学構成・デッサン紙に鉛筆でデッサンをテーマは縦の線3本、横2本の直線を組み合わせる構成作品は、ミュージアムから近い新生・登米総合産業高等学校の美術部が制作いたしました。さすが、鉛筆の濃度や線の太さを意識した感性豊かな作品が完成した様です。全ての作品は Satoru Sato Art Museum のある中田生涯学習センター3階に展示されました。

